

第7回木曾川下流水防災協議会

- 「水防災意識再構築ビジョン」に基づく木曾三川下流部の取組方針【次期5ヶ年(令和3年度～令和7年度)】を本協議会にて決議
- 桑名市長、木曾岬町長、海津市長による水防災に関する取組の紹介、意見交換を実施
- 令和3年8月の大雨による木曾三川下流部の出水について対応状況の説明

日時：令和3年8月31日（火） 14:00～15:00

場所：木曾川下流河川事務所及びWEB会議方式

■実施内容

- ・「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく木曾三川下流部の取組方針
- ・平成28年度～令和2年度の取組方針と成果
- ・新たな（その他の）取組
- ・令和3年度からの取組内容
- ・その他

<取組紹介・意見交換>

■桑名市：伊藤市長

- ・関係機関と連携しハード整備を進めることが最重要である。
- ・市民と行政が一体となった防災の取組が必要である。
- ・桑名市防災マップの配布を進めている。

■木曾岬町：加藤町長

- ・地域住民の災害の知識、水防災への意識を如何に高めるかが重要である。
- ・正確な情報をいち早く関係機関と共有し、災害発生時の判断材料としたい。

■海津市：横川市長

- ・来年度にすべての河川でL2想定ハザードマップを作成する予定である。
- ・水害発生時は一つの自治体では対応できない部分が多いため、国・県・市町村の連携が必要である。
- ・海津市防災WEB配信アプリの普及を進めている。

<実施状況>



会場の状況



WEB会議の状況